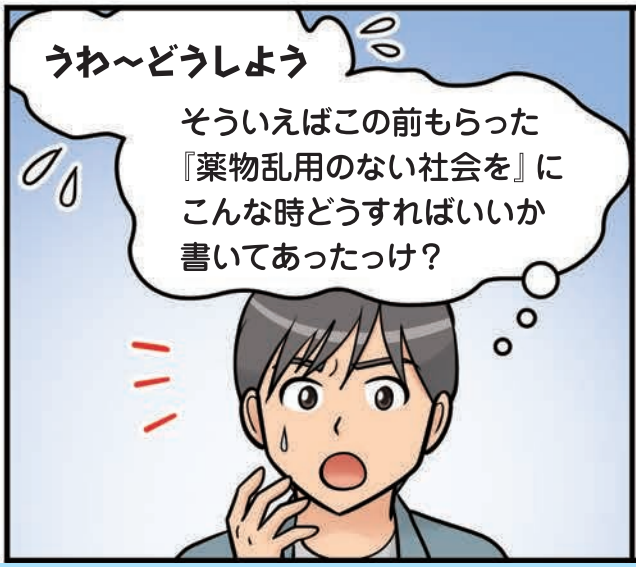
薬物乱用のない社会を

警察庁令和8年度



薬物乱用のない社会を

はじまり

警察庁

規制されている主な薬物

覚　醒　剤

形状・俗称等

「アイス」、**「氷」**、**「シャブ」**、**「S（エス）」**、**「スピード」** 等の隠語で呼ばれており、主に無色又は白色の結晶性粉末ですが、氷砂糖のような結晶体のものや錠剤型のものもあります。

作用等

幻覚や妄想が現れ、中毒性精神病になりやすいです。
使用をやめても、フラッシュバック（再燃）することがあります。
大量に摂取すると死に至ることもあります。

結晶状の覚醒剤

結晶状及び粉末状の覚醒剤

錠剤型の覚醒剤

大　　麻

形状・俗称等

大麻草という植物由来の麻薬で乾燥大麻（**「マリファナ」**、茶色又は草色）、大麻樹脂（**「ハシッシュ」**、暗緑色の棒状又は板状）、大麻から特定成分を抽出した濃縮タイプの加工品（**「大麻リキッド」** 等）があります。

作用等

知覚を変化させ、恐慌状態（いわゆるパニック）を引き起こすこともあります。乱用を続けると、学習能力の低下、記憶障害、抑うつ症状等を引き起こす可能性があります。

大麻草

乾燥大麻

大麻リキッド
（カートリッジ入り）

危険ドラッグには手を出さないで！

危険ドラッグとは、大麻や麻薬等に似た化学構造を持つ、有害で危険な物質を含有した薬物です。

危険ドラッグは、身体にどんな悪影響を及ぼすのか分からない危険なものがほとんどで、呼吸困難や異常行動を起こしたり、最悪の場合、死に至ることもあります。

また、近年、「エトミデート」と呼ばれる危険ドラッグ（指定薬物）の所持や使用等の事件も発生しています。

例え「合法」などと称して販売されているものであっても安易に手を出さないでください。

エトミデート

コ カ イ ン

形状・俗称等

南米産のコカの木の葉を原料とした麻薬であり、無色の結晶又は白色の結晶性粉末で、俗に**「チャリ」**、**「コーク」**等と呼ばれることもあります。

作用等

幻覚や妄想が現れます。
大量に摂取すると全身けいれんを起こすほか、死に至ることもあります。

コカイン粉末

MDMA（合成麻薬）

形状・俗称等

化学的に合成された麻薬であり、本来は白色結晶性の粉末ですが、様々な着色がされ、文字や絵柄の入った錠剤やカプセルの形で密売され、俗に**「エクスタシー」**、**「X（バツ）」**等と呼ばれることもあります。

作用等

知覚を変化させ幻覚が現れることがあります。
大量に摂取すると高体温になり、死に至ることもあります。

MDMA

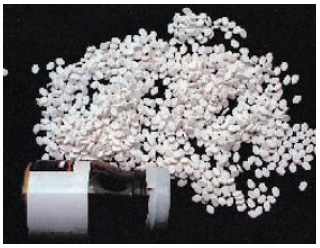
向 精 神 薬

種　類

向精神薬は、中枢神経に作用して、精神機能に影響を及ぼす物質で、その作用によって鎮静剤系と興奮剤系の2つに大別されます。

作用等

睡眠薬、精神安定剤など医療用として用いられていますが、乱用すると精神及び身体へ障害を与えます。また、依存により、思考、感覚及び行動に異常をきたします。


向精神薬（トリアゾラム）

※　この頁の「覚醒剤」、「大麻」、「MDMA（合成麻薬）」の掲載写真の一部は、厚生労働省から提供。
※　この頁の「作用等」については、厚生労働省ホームページ「麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動（パンフレット令和7年度）」から一部引用。

市販されている医薬品も、乱用すれば危険です！

ドラッグストアなどで購入できる一部の市販薬を乱用すると、依存症に陥るリスクがあります。
最近は、若者による市販薬の過量服薬、いわゆる**『オーバードーズ』**が増加しており、意識障害などにより救急搬送されるなどの事例もあります。
市販薬といえども、その目的や用法・用量を守らずに使用すれば、「薬物乱用」となります。
不安なことや疑問がある場合は、医師や薬剤師、登録販売者に相談し、正しく服用しましょう。

薬物乱用の弊害と法規制

薬物乱用による精神・身体への弊害

精神への有害性

- 意識障害
- 薬物の効き目が切れた時の脱力感や疲労感
- 幻覚、妄想
- 精神疾患に陥る可能性

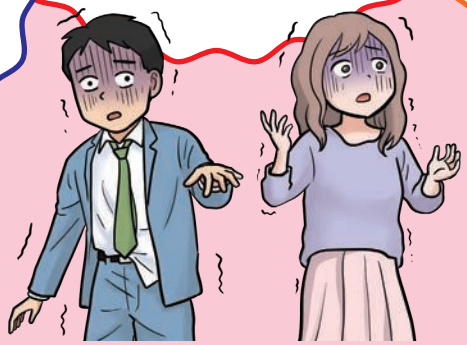
身体への有害性

- 血圧上昇
- 脳血管疾患
- 心疾患
- 肝機能障害

等の発症の可能性

依存性・耐性

規制薬物は、使用するとその効果が切れた時の苦痛から逃れるため、薬物の効果を強く求めるようになる「依存性」が形成されます。また、薬物を繰り返し使用しているうちに同じ量では効かなくなる「耐性」も生まれます。



「一度だけ」という好奇心や遊びのつもりでも、薬物の依存性と耐性によって、使用する量や回数はどんどん増える**悪循環**に陥り、自分の意思ではやめることができなくなります。

さらに、使用するのをやめて長期間経った後にも、些細なストレスや飲酒などによって、突然、幻覚や妄想等の精神障害が現れる**フラッシュバック（再燃現象）**が起こることがあります。

社会に与える影響

薬物を乱用すると、その薬理作用から幻覚、妄想等の精神障害に陥り、**殺人**、**強盗**、**放火**等の**凶悪な犯罪**や**重大な交通事故**等を引き起こすことがあります。

また、薬物の購入資金を得るための窃盗等の犯罪も発生しています。

薬物に関わると、あなたの生活・将来に、どんな影響があるでしょうか？

「自分ごと」として考えよう！

学校生活・進学

- 学校を退学…
- クラブ活動の休止、大会の出場停止…

仕事・生活

- 就職内定の取消し…
- 会社をクビに…
- 薬物欲しさに借金を重ね…

友達・仲間

- 友達が自分から離れていく
- 周りが薬物仲間だけに…

家　族

- 薬物の影響で家族に暴力…
- 薬物で逮捕され、家族に迷惑を…

薬物乱用に関する法規制

覚醒剤や大麻等を使用、所持するなどの行為は、法律により禁止されており、違反者には重い刑罰が科せられます。

罰則の一例

覚醒剤の所持、使用 覚醒剤取締法

単純所持・使用……10年以下の拘禁刑
営利目的……1年以上の有期拘禁刑　情状により500万円以下の罰金を併科

麻薬（大麻等※1、コカイン、MDMA等合成麻薬、LSD等）の所持、施用 麻薬及び向精神薬取締法

単純所持・施用……7年以下の拘禁刑
営利目的……1年以上10年以下の拘禁刑　情状により300万円以下の罰金を併科

※1　大麻及びその有害成分であるTHC（テトラヒドロカンナビノール：幻覚等の精神作用を示す麻薬として規制されている成分）をいいます。

各種薬物事犯の検挙人員の推移（令和3年から令和7年）

区分 ＼ 年次		R3	R4	R5	R6	R7
覚醒剤事犯		7,824	6,124	5,914	6,124	6.395
大麻事犯		5,482	5,342	6,482	6,078	6,832
麻薬及び向精神薬事犯	MDMA等合成麻薬	221	229	237	247	284
	コカイン	157	240	372	586	804
	ヘロイン	0	0	3	1	0
	その他	163	204	316	416	246
あへん事犯		15	3	6	10	13
合計		13,862	12,142	13,330	13,462	14,574

注1：本表の数値には、各薬物に係る麻薬特例法違反の検挙人員の数値を含む。
注2：大麻事犯の検挙人員は、「大麻取締法及び麻薬及び向精神薬取締法の一部を改正する法律」の施行日（令和6年12月12日）以降の麻薬及び向精神薬取締法において麻薬とされる「大麻・THC」に係るものを含む。また、麻薬及び向精神薬事犯の検挙人員は、同施行日以降の麻薬及び向精神薬取締法において麻薬とされる「大麻・THC」に係るものを含まない。

インターネットを悪用した売買や闇バイト募集に注意

近年、覚醒剤や大麻等をはじめとした違法薬物の売買に、SNSが悪用されています。違法薬物の所持・使用・売買は違法です。違反者には重い刑罰が科せられる可能性があります。

SNSを通じた違法薬物販売の誘いや、「荷物を受け取るだけで報酬」などのいわゆる闇バイトの募集に応じると違法薬物密輸入の中継点とされる可能性もあるなど多くの危険が伴いますので、決して応募してはいけません。

contents　違法薬物には、いろいろな隠語があります。

- **覚醒剤**：アイス・氷・シャブ・エス・スピード等
- **大麻**：野菜・クサ・リキッド・ハッパ・チョコ等
- **MDMA**：バツ（×）・タマ・エクスタシー等
- **コカイン**：チャリ・チャーリー・コーク等
- **LSD**：エル・紙・神・ペーパー・アシッド等

薬物乱用者の手記

元覚醒剤・大麻乱用者（60歳代、男性）

～永遠につきまとう密売の業～

私の大麻と覚醒剤との付き合いは、30年以上にわたりました。人生の半分近くを違法薬物と共に歩んで来たことになります。

何度も警察に捕まりましたし、刑務所にも服役しました。大麻で逮捕されたことが原因で、一人目の妻とは離婚しました。私の汚点でしかなく、後悔しかないのが正直な気持ちです。

きっかけは、先輩や知人から勧められたことと、ほんの少しの好奇心からという本当に些細なことでした。

この時に断ってさえいれば、こんな薬漬けの人生を送ることはなかったと思います。

依存性がある薬物だからこそ、一番最初のきっかけの場面で、拒否できる勇気、好奇心に負けない強い気持ちを持つことが一番重要なことなんだと思います。

私は、中学1年生の頃、先輩から勧められて、シンナーに手を出しました。そして、16歳の頃、同じく先輩に勧められて覚醒剤を使い、その数年後には、知り合いのヤクザに勧められて大麻にも手を出してしまったのです。以降、私は覚醒剤と大麻を継続して使うようになりました。特に大麻には、これでもかという程はまりました。大麻にはまりすぎた私は、仲間と一緒に大麻の栽培を始め、毎日2グラム以上の大麻を使うようになりました。当時は大麻を使うことが生活の一部と言っても過言ではない日々を送っていました。さらに私は、それだけでは飽き足らず、仲間と一緒に、仕入れた覚醒剤を売ったり、栽培した大麻を売ったりして薬物の密売も始めたのです。

ただし、こんなことが長く続く訳もなく、やがて、大麻栽培等の罪で逮捕されてしまいました。逮捕されたことで人間関係も破綻し、結局、残ったのは後悔だけでした。しかし、これで終わらないのが、薬物の怖さなのです。捕まった時は、「絶対に止める。」と決意しました。実際、約2年間、薬物を我慢していました。しかし、止めていたにも関わらず、疲れたり、ストレスが溜まった時、薬物を欲してしまい、再び大麻や覚醒剤をするようになってしまいました。ちまたでは、大麻には依存性がないという誤った情報が溢れています。しかし、正常な判断ができるのであれば、大麻で社会的制裁を受けることと大麻を止めることを天秤にかけた時、普通は止める方を選ぶはずです。それでも大麻を使ってしまうのは、依存性が強いからと言えるのです。再び大麻や覚醒剤をするようになった私の末路は分かりきっていました。結局、自分が使う大麻を確保することと、密売して稼ぐ目的で、再び大麻栽培を始めた上、大麻のほか覚醒剤も使い続けるようになりました。その後も私は2度大麻で逮捕され、その後に覚醒剤の罪でも逮捕されています。私は、この服役を最後に薬物を使っていません。それは、自分なりに解釈すると、やっと、支えてくれている妻や周りの人の気持ちに気づいたからだと思っています。こんな私と結婚してくれた妻は、何度も捕まっている情けない私のことを待っていてくれました。仕事のお客さんも誰一人として、服役していた私を切ることなく変わらずに接してくれました。私は、このような人達の気持ちを裏切ってはいけないと思い、二度と薬物に手を出さないと決心したのです。私が薬物を止めて7年が経過したころ、ある日、私の携帯電話が鳴りました。着信画面を見ると知らない電話番号です。電話に出ると知らない男の声で「〇〇さん、ブツありますか？」と尋ねられました。当然、私は申し出を断りましたが、話を聞くと、その男は、別の人間から私を紹介されて電話してきたとのことでした。私は、約7年もの年月が経過してもこんな電話がかかってきたことや密売人として自分の名前があまりに広まっている状況にゾッとしました。私はこのまま、永遠に大麻や覚醒剤の呪縛から逃れられないのではないかとすら思ったのでした。未だに、ふとした時に、大麻や覚醒剤を欲することもありますが当然、その度に妻や周りの人のことを考え、我慢しています。今後も、完全に大麻や覚醒剤を求めなくなることは、一生ないと思います。これが私が背負った業なのです。私の手記を読んで薬物乱用者が一人でも減ることを願っています。

元覚醒剤乱用者（30歳代、女性）

～「薬物には絶対に手を出してはダメ」
逮捕されてから知る覚醒剤の代償の大きさ～

私が初めて覚醒剤を使用したのは、30歳の時でした。彼氏に誘われて使ってしまいました。注射でやるのは怖いと思い、自分では注射ができないので、彼氏に打ってもらっていました。1か月に1回の覚醒剤を使う頻度や量も、気付けばどんどん増えていきました。彼氏と一緒に泊まった時は2回ぐらい追い打ちするようにもなりました。何度もやめなきゃと思いながらも、まだ大丈夫とまた覚醒剤を注射していました。同じことの繰り返しで、結局、覚醒剤を使い始めてから、6か月後に逮捕され、やっと自分を取り戻しました。軽い気持ちから取り返しのつかないことになってしまいました。ただ、あのままずるずると覚醒剤を使い続けていたら、どうなっていたかと思うと、逮捕されて良かったと思っています。取調官の人がいい人で本当に良かったです。ありがとうございました。私は、留置場で3か月くらい過ごしました。「本当に取り返しのつかないバカだ自分」と思いながら、これからどうやって生活していこうかとか、私のことを知っている人との接し方を毎日考えたり、反省の日々でした。面会には家族が来てくれました。「本当にごめ

んなさい」と思いながらの面会でした。薬物犯罪には、被害者はいないよと言われましたが、大切な人を傷つけ、涙させたりして苦しめていることがやっと分かりました。覚醒剤を使っている時は、忘れていましたが、家族が面会に来て、これまで「薬物は絶対に手を出してはダメ」と教わっていたことの意味を知り、改めて思い出しました。あれほど言われてきたのに、反省しても遅いと後悔しました。その後、私は執行猶予をもらい、社会に戻ることができましたが、周りからの信用を失い、外に出るのも怖いです。信用を失った私は、今後、仕事すら無事に見つかるかも心配です。覚醒剤の代償の大きさを噛みしめています。あの時、勧められても断る勇気があれば、こんな人生を送ることもなかったのにと後悔しています。

1日も早く、この世から薬物がなくなる日が来るよう願っています。もう二度としないようにと決心を固く持って、人生を送って行きたいと思っています。

元覚醒剤乱用者の家族（30歳代、男性）

～娘からの違法薬物使用の告白「うちはだいじょうぶ」とは思わないで～

私の娘は、17歳で薬物使用の罪で逮捕されました。

ある日、夜中に娘に起こされ「違法薬物を使用してしまった。」と涙ながらに告白されました。

今、思い起こしてもその瞬間の感情を文字にできる程、たやすい感情ではありませんでした。ただ、その後すぐに、私が感情的に怒鳴ってしまった事だけは覚えています。

少し娘の事を話させてください。娘は、不登校児でした。小学校高学年から徐々に学校に行けなくなり、中学校は全くと言っていい程、登校できませんでした。徐々に精神的にも不安定になっていきました。私の妻は統合失調症を患っており、娘が中学2年生の時に入院する事もあり、正直家庭環境が良いとは言えない環境の中、学校に行けず、家に引きこもったままの娘の精神状態が良い方向に向かうはずもなく、援助交際をしてしまい、更には、自傷行為をきっかけに中学3年生の秋に精神科に入院もしました。

この時、私は親としてもっと、しっかり娘と話をするべきだったと後悔しています。

娘は約1年程で退院したのですが、本人が高卒認定は取っておきたいという希望があり、通信制の高校に入学しました。しっかり将来の事を考えているんだ、と精神科に入院して良かったなと、これから先はきっと大丈夫だろう、そう思っていました。しかし、徐々にまた学校に行く事が嫌になってきたり、家から出ることが億劫になってきました。入院をきっかけに友人とも縁が切れてしまい、再び精神的に不安定な日が多くなっていました。病院には、定期的に通っていたのですが、私自身どう対処したら良いのか分からず、病院まかせにしてしまい、娘とのコミュニケーションが疎かになっていきました。そんな矢先、娘から違法薬物を使用したとの告白があり、完全にどうすべきか分からなくなってしまいました。

その告白を受けた次の日には病院、学校、警察と全てに足を運びました。そのまま当日に尿検査を受けたのですが、その時は陽性反応が出なかったと伝えられました。正直ホッともしましたが、違法な行為と分かっていながら、そういった行為をしようとした事がそもそも問題であり、いっそのこと捕まって、しっかりと反省の場を踏んだ方がいいのではないかとも思いました。この日は簡易的な検査で、本鑑定の結果を後日、知らせるとのことで、娘と家路につきました。

しかし、後から、娘が違法薬物を使ってしまったという事実が一気に現実味を帯びてきました。捕まってしまった場合どうなってしまうのか、違法薬物の身体への影響はどう出てくるのか、娘の将来がどうなってしまうのか、全てが経験したことがなく不安で仕方ありませんでした。しかし、こんな事を知人に相談する事もできず、一人で抱え込むしかありませんでした。娘も当時こんな精神状態だったのかもしれません。ただ、幸い精神科の通院は続けていたので、先生を交えて家族全員で意見を出し合う場があった事は唯一の救いでした。

本鑑定の結果はいつになるのかと待っていた矢先、早朝に警察の方が家宅捜索に来ました。正直そうだろうなと覚悟はしていましたが、それが現実となると足はすくみ体が震えてしまうくらい衝撃を受けてしまいました。何故なら覚醒剤反応が出ていたからです。娘の口から覚醒剤という言葉は聞いていませんでした。しかし、出てしまった以上事実はしっかり、明らかにし、犯した罪は償って欲しい、その思いで警察の捜査に協力しました。結果、娘は違法薬物という認識はあったものの、覚醒剤が含有しているものとは知らずに、使用したことが分かりました。相手はネットで知り合った人物だったようです。そこから何度か取調べの為、娘は警察署に行くこととなり、取調べが嫌で市販薬をオーバードーズしてしまったりと精神的に不安定になってしまう日もありました。私の心情としては、自業自得じゃないか、逃げてどうするんだという気持ちと親である私の責任であるという気持ちの2つが交錯していました。現代社会では、スマートフォンの普及により、悪の手が簡単に届いてしまう世の中になっており、しっかりと親である私たちが見張っておかないと娘のような事件が身近でおきてしまいます。他人事だと思って「うちはだいじょうぶ」と思っていても私の家庭のような事が起きてしまう可能性は決して低くありません。人と人との距離感がネット優位にならないようにしっかりと親子間でコミュニケーションを取り、見守ってあげてください。

TOPICS 1 大麻を巡る情勢等

大麻事犯検挙人員は、平成26年以降増加傾向が続いていたところ、令和7年は6,832人と前年よりも増加し、**過去最多**となりました。

特に、年齢層別では、**20歳代以下が全体の7割を超える**など、**若年層**を中心とした大麻の乱用拡大が問題となっています。

大麻に関する法規制

大麻は所持だけでなく、使用も犯罪です！

令和6年12月12日、大麻取締法及び麻薬及び向精神薬取締法の一部を改正する法律が施行されました。

大麻等※1の所持、施用※2　麻薬及び向精神薬取締法 ▶ **7年以下の拘禁刑**（営利目的以外）

※1　大麻及びその有害成分であるTHC（テトラヒドロカンナビノール：幻覚等の精神作用を示す麻薬として規制されている成分）をいいます。
※2　大麻等を不正に身体に投与・服用することは、麻薬及び向精神薬取締法で「施用」として処罰されます。

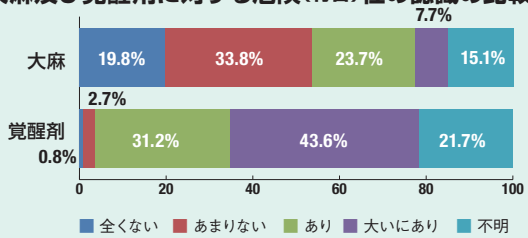
1 大麻乱用者の実態

令和7年の一定時期に麻薬及び向精神薬取締法違反で検挙された者のうち、違反態様が大麻単純所持又は単純施用の者について、捜査の過程において明らかとなった大麻に対する認識等は次のとおりです。

危険（有害）性の認識の比較

大麻に対する危険（有害）性の認識は、**「なし（全くない・あまりない）」が**5割を超え、覚醒剤に対する危険（有害）性の認識と比較すると著しく低くなっています。また、大麻に対する危険（有害）性を軽視する情報の入手先については、「友人・知人」、「SNS（インターネット）」が多いという結果となっています。

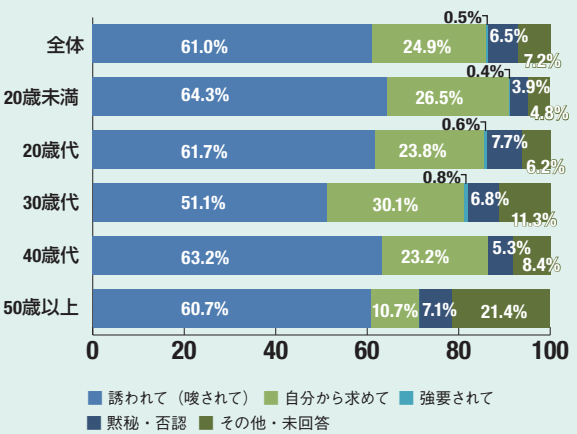
大麻及び覚醒剤に対する危険（有害）性の認識の比較



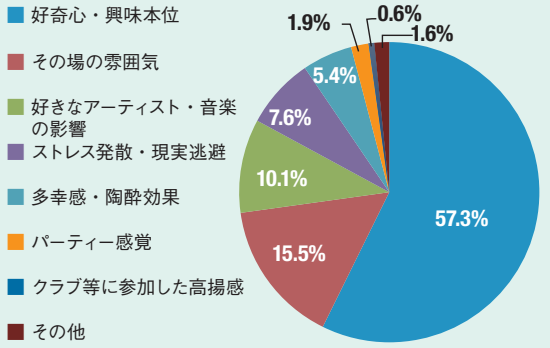
大麻を初めて使用したきっかけ・動機

大麻を初めて使用したきっかけは、いずれの年齢層でも**「誘われて（唆されて）」**が過半数を占め、使用した動機は20歳未満を例に挙げると**「好奇心・興味本位」が最多であり、次いで「その場の雰囲気」**が多く、身近な環境に影響を受けて、短絡的かつ享楽的に大麻に手を出す傾向があります。

大麻を初めて使用したきっかけ（犯行時年齢層別）



大麻を初めて使用した動機（20歳未満）



2 大麻の有害性

インターネット等では、「大麻は身体への悪影響がない」「依存性がない」などの誤った情報が氾濫していますが、大麻の有害性は特に成長期にある若者の脳に対して影響が大きいことも判明しています。

また、**大麻はうつ病や記憶の障害を引き起こすなど、メンタルヘルスにも悪影響を与えます**。

間違った情報に流されず、正しい知識で判断しましょう。

大麻の乱用による影響　大麻の有害性　大麻を長く使い続ける影響

知覚の変化	学習能力の低下	運動失調	精神障害	IQ（知能指数）の低下	薬物依存
時間や空間の感覚がゆがむ	短期記憶が妨げられる	瞬時の反応が遅れる	統合失調症やうつ病を発症しやすくなる	短期・長期記憶や情報処理速度が下がる	大麻への欲求が抑えられなくなる

※出典：厚生労働省「薬物乱用防止読本：健康に生きようパート39」から引用

3 誘われたらどうする？

こんな言葉で誘われたら、あなたはどうしますか？

●「1回だけなら平気だよ。」
●「これをやれば、頭がさえて、成績が上がるよ。(リラックスできるよ。)」
●「合法の国もあるくらいだから、体に害はないよ。」
●「みんなやってるよ。友だちだろ？」

「はっきり、きっぱり」断る

少しでも迷っている様子を見せてしまうと、また誘われてしまいます。
誘われたときは、はっきりと断りましょう。
●「興味ないし、いらない。」　●「僕は（私は）やらない。」など

話題を変える、その場から離れる

「そういえば・・・」などと話題を変えて、相手の誘いをかわしたり、
何か口実（トイレ、電話、用事など）を作って、その場から離れ(逃げ)ましょう。
●「そういえば、今日はこれから用事があるんだった。」など

相談する　（全国の都道府県警察が開設している相談電話の番号を 10 ページに掲載しています。）

一人で悩まず、親、警察などに相談しましょう。

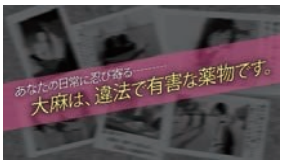
STOP！大麻乱用防止動画

警察庁では、増加する大麻事犯に歯止めをかけるべく、大麻乱用防止を呼びかける動画を作成するなどしています。

①

②

③

④


各動画はこちらから

①　②　③　④

TOPICS 2 海外旅行・留学等に伴う注意点

1 密輸入の手口

密輸入の手口として、航空機の利用客が覚醒剤を所持品等に隠匿して密輸入する**携帯密輸入**があります。密輸入については、所持等と比較しても重い罰則が定められています。

覚醒剤密輸入の罰則

単純輸入…… **1年以上**の有期拘禁刑

営利目的…… **無期**若しくは**3年以上**の拘禁刑
情状により**1,000万円以下**の罰金を併科

覚醒剤が隠匿されたスーツケース

スーツケースに隠匿された覚醒剤

2 「運び屋」として利用されないために

薬物犯罪組織は、組織と関係のない旅行客を**「運び屋」**（注）に勧誘することがあります。運び屋にならない（されない）ために、海外へ渡航する際は次の点に気をつけてください。

（注）航空機等を利用して薬物を密輸する役割を担う者をいい、薬物犯罪組織とつながりの薄い者がこれに当たることが多い。

不用意に他人から荷物やお土産を預からない

知人の紹介、元同僚、学校時代の先輩・後輩、恋愛関係を利用するなど、あらゆる人間関係を利用して薬物を運ばせようと近づいてきます。知人・友人の誘いであっても注意が必要です。

「運ぶだけで報酬」などのうまい話に乗らない

犯罪組織は、薬物とは打ち明けず、運べば報酬を払うと言って荷物を預けようとすることもありますが、そんなうまい話はありません。

他人から預かった荷物でも、自分の携行品の中身については責任を問われます。「知らなかった」、「分からなかった」ではすまされません。

「1回だけなら捕まらない」と安易に考えない

密輸入はたとえ1回だけでも重罪ですから、安易な考えは禁物です。

3 大麻成分入り食品に注意

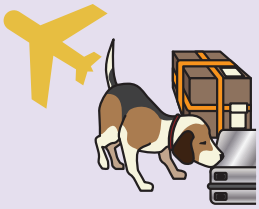
海外では、**大麻成分入りのキャンディ**、**クッキー**、**チョコレート等の食品**が販売されていることがあります。

お土産として日本に持ち込もうとして検挙されたり、食べて救急搬送されたりするケースもありますので、海外旅行や海外留学で渡航する際には、興味本位で口にしたり、国内に持ち帰ろうとすることがないよう注意してください。

大麻キャンディ

大麻スナック

大麻クッキー



薬物乱用問題に関する相談電話

北海道	札　幌	警察相談センター	011-241-9110
	函　館	警察相談センター	0138-51-9110
	旭　川	警察相談センター	0166-34-9110
	釧　路	警察相談センター	0154-23-9110
	北　見	警察相談センター	0157-24-9110
	青　森	警察安全相談室	017-735-9110
	岩　手	警察安全相談電話	019-654-9110
	宮　城	銃器・薬物110番	022-266-1074
	秋　田	県民安全相談センター	018-864-9110
	山　形	違法薬物相談	023-635-1074
	福　島	警察安全相談	024-525-8055
	東　京	薬物・銃器ホットライン	03-3593-7970
	茨　城	警察相談ダイヤル	#9110
	栃　木	覚醒剤110番	028-624-1074
	群　馬	警察安全相談室	027-224-8080
	埼　玉	けいさつ総合相談センター	048-822-9110
	千　葉	相談サポートコーナー	043-227-9110
	神奈川	警察総合相談	045-664-9110
	新　潟	けいさつ相談室	025-283-9110
	山　梨	薬物110番	055-228-8974
	長　野	警察安全相談	026-233-9110
	静　岡	ふれあい相談室	054-254-9110
	富　山	警察相談専用電話	076-442-0110
	石　川	警察安全相談電話	076-225-9110
	福　井	薬物追放電話	0776-21-4618
	岐　阜	警察安全相談室	058-272-9110
	愛　知	警察安全相談	052-953-9110
	三　重	警察安全相談電話	059-224-9110
	滋　賀	県民の声110番	077-525-0110
	大　阪	覚醒剤110番	06-6943-7957
	兵　庫	覚醒剤110番	078-361-0110
	京　都	違法薬物110番	075-451-7957
	奈　良	違法薬物110番	0742-33-1818
	和歌山	薬物相談電話	073-425-4615
	鳥　取	薬物110番	0857-26-3774
	島　根	薬物相談電話	0852-27-4697
	岡　山	覚醒剤110番	086-233-7867
	広　島	覚醒剤・麻薬相談電話	082-227-4989
	山　口	警察総合相談電話	083-933-0110
	徳　島	薬物110番	088-653-4444
	香　川	警察相談専用電話	087-831-0110
	愛　媛	警察相談専用電話	089-931-9110
	高　知	銃器薬物相談電話	088-822-1074
	福　岡	薬物110番	092-641-4444
	佐　賀	警察相談室	0952-26-9110
	長　崎	薬物110番	0120-110-874
	熊　本	拳銃・違法薬物相談電話	096-384-4444
	大　分	違法薬物相談コーナー	097-537-8918
	宮　崎	違法薬物・拳銃110番	0985-20-1074
	鹿児島	企業対象暴力・けん銃・薬物相談電話	099-255-0110
	沖　縄	薬物110番	098-862-1483

令和8年3月末現在

薬物乱用防止関係リンク先

警察庁
National Police Agency

大麻対策のためのポータルサイト

https://www.npa.go.jp/bureau/sosikihanzai/yakubutujyuki/illegal_cannabis/index.html

ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

薬物乱用防止に関する情報

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/iyakuhin/yakubuturanyou/index.html

文部科学省

薬物乱用防止教育

https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1353626.htm

編集・発行　警察庁組織犯罪対策第二課